



テーマ
温故知新…明日の鬼無里へ

出演者の中で最高齢、96歳のハーモニカ演奏（舞台発表）

今年の文化芸術祭は50周年の節目の年となりました。

歴代の館長さん方や公民館活動に携わっていたいただいた諸先輩方の、公民館活動に対する熱い思いがこうして50年の時を築いてこられたことに敬意と感謝をもって思い返すとともに、これからの公民館活動に何が求められるかを考える良い機会となりました。

展示発表会場では、鬼無里村時代に発刊された貴重な調査資料や記念誌の数々、大勢の皆様から昔懐かしい資料などが展示されました。

舞台発表では、50周年を記念して長野市芸術館からお届け芸術館コンサート「マリンバとピアノ演奏」の後、日頃の練習の成果を発表いただくとともに、50周年記念友情出演の団体の皆さんからも舞台を大いに盛り上げていただきました。

令和5年度実施概要

- ・開催日 11月2日(木)・3日(金)・4日(土)
- ・来場者数(3日間延べ数) 332名
- ・作品出展数 590点
- ・舞台発表出演者数 2名
- ・グループ 11グループ
- ・演目数 30演目



お届け芸術館コンサート「マリンバとピアノの演奏」

時節

◇50回記念文化芸術祭

・今年の展示発表は、公民館の生い立ちから50年間の事業やその時々の出来事が、写真パネルや年表などを通して半世紀にわたる村の動きと併せて展示したほか、終戦時の玉音放送の原稿や50回記念の彫刻などユニークな作品が多く目立った。

・舞台発表では、お届け芸術館のマリンバとピアノの生演奏のほか友情出演として戸隠地区からコーラスやカラオケグループでの参加があった。フィナーレはコーラスグループと会場の皆さんが一体となった「紅葉」の合唱で幕を閉じた。

◇首都圏鬼無里こぶしの会

・11月18日(土)に3年ぶりとなる総会が開催され、首都圏会員46名、鬼無里から12名が参加した。思い出話や近況報告などの話に、時の経つのを忘れるひと時となった。

・参加した60歳代の姉妹は、「高齢化が進み、この会が続かなければ私たちの抛り所がなくなるから参加した。」という話を聞き、頼もしさとともにこの会が続くために応援して欲しいという気持ちを強くした。(中)



第50回文化芸術祭のトピックス



鬼無里地区のあゆみ
(年表と写真)



鬼無里の本
(調査報告書など41点)



「桐花民謡」の拓本



昭和40年代のテレビと扇風機



絵
手紙



かな書道



皆既月食と天王星食の
写真・記録



化石のクリーニング
(わんぱく教室)



木彫
50回記念「玉兎50」



算額
(復刻しました)



舞踊（3年ぶりの舞台）



「100年前の鬼無里」を語ろう



合唱「紅葉」

最後は会場の皆さんと一緒に「紅葉」を歌い、舞台発表の幕を閉じました。

鬼無里小中学校 修学旅行

小学校

「東京社会見学」

新幹線、電車を使って見学旅行をしました。国会議事堂では会議場や、歴代の議長の肖像画が並ぶ議長応接室、国会図書館などを見せていただきました。東京タワーのガラス張りの床、夕焼けに立つユニコーンガンダムを見学して、夕食は食べ放題でした。2日目の朝は通勤ラッシュも体験し、江戸文字体験をしました。東京ドームシティアトラクションズではみんなで相談しながら楽しみました。



国立科学博物館にて

中学校

「スクールトリップ イン 奈良&京都」

3年 松橋結大
松本咲大
和田安紗実

4年ぶりに4月に修学旅行を実施しました。11日は奈良の見学を行い、京都の



銀閣寺にて

ホテルに宿泊しました。12日と13日は京都市内をバスや電車を使い見学しました。少人数の旅なので、予定していた以上にお寺や神社の見学をすることができました。この旅行を支えていただいた全ての方々に感謝したいと思います。

三人の印象に残っている場所
「ベスト3」

- 結大 第一位 東大寺
- 第二位 二条城
- 第三位 清水寺
- 咲大 第一位 銀閣寺
- 第二位 興福寺
- 第三位 宝厳院
- 安紗実 第一位 二条城
- 第二位 伏見稲荷大社
- 第三位 奈良公園

わたしの作品

短歌

真夏日の刈払する手休めに目蔭まかげをさせばすずめ蜂寄る
のぼり来て峠に立てば集落に煙立つ見ゆ初焼ならむ
なんだっけすぐと出てこぬこの頭年のせいかと我に伝えし
ふるさとの顔集まりて想い来るあふれる話に経つ時忘れ

八木政太郎（東京都）

宮下米子（西京）

川柳

皆プロ級力作熱演文化祭

山口信雄（蒲田）

人権教育シリーズ

正しく理解することの
大事さ

長野市人権教育推進員
宮下 茂

全ての人が人間として尊重され、心豊かな生活が送れるよう、あらゆる差別のない明るい社会実現の一助となるために、川俣和彦さん(再任)とともに人権教育推進員として務めることになりました。人権感覚に鈍感な自分に務まるか心配ですが、皆様とともに様々な人権課題について考えていきたいと思えますので、よろしくお願ひします。

7月に住自協主催の「鬼無里の湯ふれあいサロン」に参加させていただき「認知症」についてのビデオを観てお話をしました。ビデオの内容は「認知症の症状」「家族の混乱」「認知症の人と家族の気持ちの変化」「症状の理解」「介護者の交流の大切さ」など、認知症をめぐる様々な問題が理解できるようにドラマ化され

たものでした。

認知症は以前「痴呆症」と言われていたこともあり、「恥ずかしい病気」「何も分からなくなってしまう病気」と考える方が多いと思います。実際話し合いの中でも、介護の大変さを周りに理解されず切ない思いをしたという体験を話してください方もありました。

ドラマに登場した医師は、「認知症の方は感受性が強く、プライドは持ち続ける。私たちが思っている以上に能力も感情も持っている。そして、多くが社会とつながりたいと思っている。そのことを周りが理解したり、足りない部分を支えたりすることで、その人らしく穏やかに生きることができると話していました。

誰もがこのような視点で認知症と向き合っていくことが、高齢者に優しい地域づくり、ひいては誰にでも優しい社会づくりの一步になるのではないかと思います。研修会を通して「正しく知る」ことの大切さを改めて感じることができました。

3分館の活動

上里分館



ハイキングの後は温泉でリフレッシュ

◆ハイキング

7月23日(日) 昨年までの「体力づくり登山」にかわり妙高の苗名滝までハイキングに出かけました。当日は日差しの強い日でしたが、温泉でゆっくり汗を流し心身ともにリフレッシュした一日となりました。

両京分館

◆そば打ち講座

11月19日(日) 両京分館 趣味の講座が行われました。そば粉は「鬼無里の地粉」を使い講師の指導のもと「水回し」から「そば切り」まで二八そばを打つことができました。



生地 hardness を触って確認

中央分館

◆ペタンク大会



4年ぶりの大会「どれが一番近い…?」

6月18日(日) コロナウイルスも第5類となり4年ぶりの開催となりました。9チームの皆さんが参加され、要領を思い出しながらブル(重いボール)を目標玉(ビュット)に投げていました。

結果は次のとおりです。
優勝 仲町たぬき
準優勝 須田
3位 仲町くま
敢闘賞 積善B

鬼無里地区人口

(令和5年12月1日)

世帯数	591 (+2)
総人口	1,115 (-19)
男	515 (-10)
女	600 (-9)

()内は令和5.6.1との比較増減
表紙の題字 一色白泉氏(書家)

できました。最後はゆで方を教えていただき、講師の打ったそばを試食。新そばの風味と舌触りの滑らかさに参加者は大満足でした。